取扱・工事説明書

細山式貯蔵蒸気湯沸器　（DS/HDS 型）

はじめに

このたびは細山式貯蔵蒸気湯沸器をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みになり、本機の性能を十分に発揮できますよう正しいお取扱いをお願いいたします。

取扱・工事説明書の表記

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書及び製品への表示はいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

警　告

この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡又は重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。

注　意

この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が障害を負う可能性が想定される場合及び物的障害のみの発生が想定されることを表しています。

目 次

取扱説明編

各部の名称・・・・・・・・・・・・・2
ご使用の前に・・・・・・・・・・・・3
使用方法・・・・・・・・・・・・・・3
日常の点検とお手入れ・・・・・・・3
故障かな？と思ったら・・・・・・・5
長時間使用しない時・・・・・・・・5
オプション・・・・・・・・・・・・・6

設置工事説明編

警告事項・・・・・・・・・・・・・・・・・7
設置に関する注意事項・・・・・・・・・・7
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
アフターサービスについて・・・・・・・・１３
取扱説明書の再入手方法・・・・・・・・・１３

細山熱器株式会社

◎　特に注意していただきたいこと

警　告

- 銘板に表示してある電源を使用して下さい。正常に作動しなくなります。
- 機器の設置・移転及び付帯工事は、お買い上げの販売店もしくは専門の業者に依頼し、安全な位置に正しく設置して下さい。
- この機器は屋内設置型です。水の掛かる場所や屋外には設置しないで下さい。故障や事故の原因になります。
- 機器及びその周囲には燃えやすいものを貼ったり、掛けたり、置いたり市内で下さい。火災の原因になります。
- 給湯栓からは熱湯が出ますので十分に注意して下さい。やけどの恐れがあります。
- 機器の分解、修理、改造はしないで下さい。事故や故障の原因になります。
- 取扱説明書に指示する所以外は触れないで下さい。事故や感電の恐れがあります。
- 濡れた手で器具に触れないで下さい。感電することがあります。
- 万一異常を感じた場合には、直ちに運転を停止し「故障かな？と思ったら」に従ってください。

注　意

- この機器は給湯用に使用する目的で作られていますのでそれ以外には使用しないで下さい。思わぬ事故の原因になることがあります。
- この機器は給湯用です。水以外のものを入れないで下さい。思わぬ事故の原因になることがあります。
- 使用中及び使用後は本体・配管等、部分によっては熱くなっていますので手を触れないで下さい。やけどの恐れがあります。
- 濡れた手で電源プラグを触らないで下さい。感電の恐れがあります。
- 電源プラグの差し込みは確実に行って下さい。過熱や火災の原因になります。
- 電源コードは無理に引っ張ったり、ねじったり、重い物を載せないで下さい。コードが傷み火災の原因になります。

お願い

1. 使用者が変わった場合には、必ず本書を読ませかつ指導して下さい。
2. ご使用後は、給水栓・蒸気元栓を必ず閉めて下さい。
3. 井戸水は使用しないで下さい。機器の寿命を縮めます。
4. 電源プラグを抜く時はコードを引っ張らないで下さい。断線して発熱や火災の原因になります。
5. 雷による一時的な過電流やノイズで電子部品を破損することがありますので、雷が発生した時は、速やかに電源プラグをコンセントより抜いて下さい。
6. 機器に異常がない場合でも、末永く安全に使用して頂きますために、1 年に 1 回程度の定期点検（オーバーホール）を推奨します。定期点検は、有料となります。詳細については、販売店または細山熱器（株）サービス課に問い合わせ下さい。

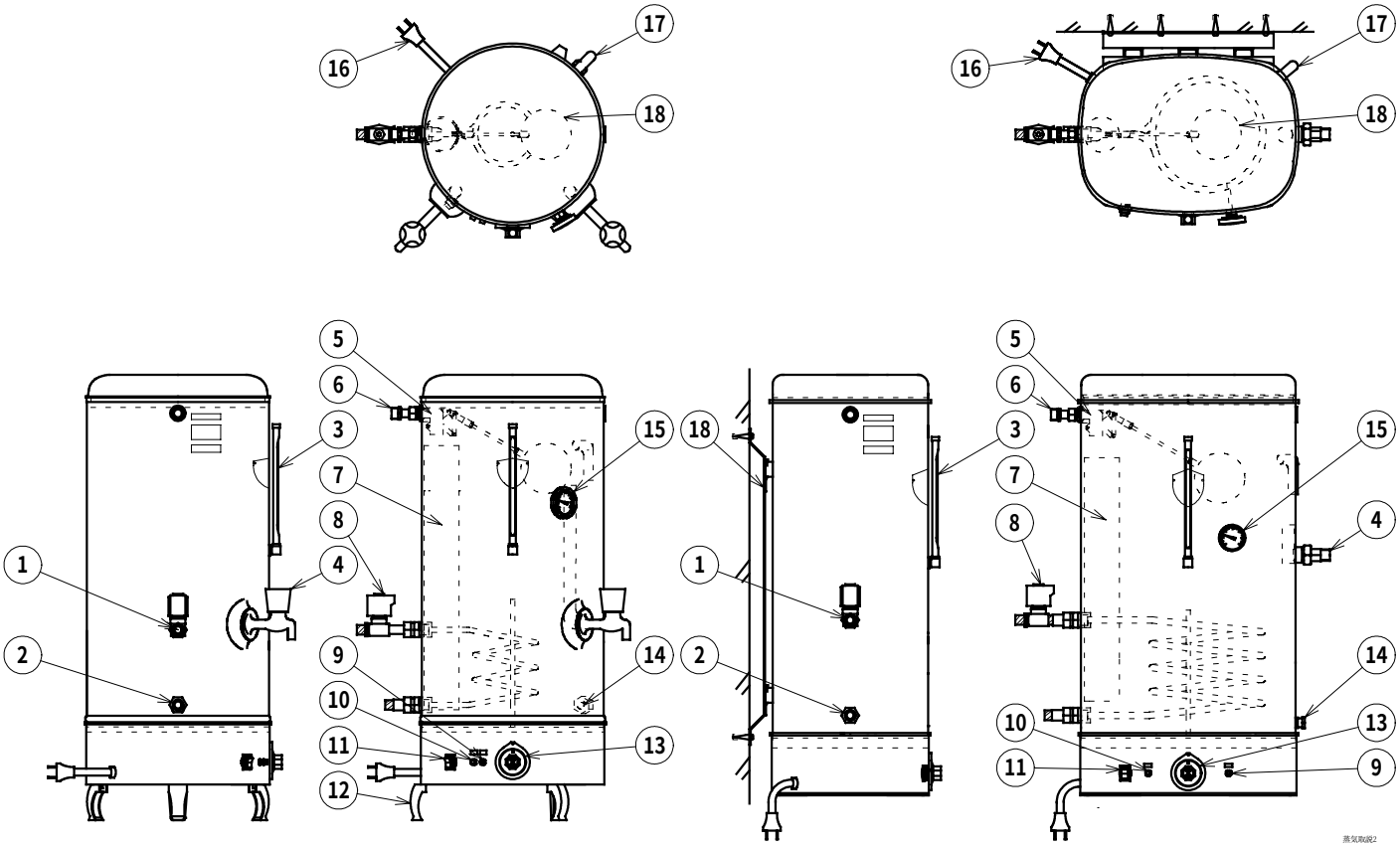
取扱説明編

器具をご使用になる方へ

各部の名称

番号	名称	番号	名称	番号	名称	番号	名称
1	蒸気入接続口	6	給水金具	11	電源スイッチ	16	電源コード
2	蒸気出接続口	7	水受管	12	台足	17	オーバーフロー管
3	水位計	8	電磁弁	13	丸型温度計	18	ボールタップ玉
4	出湯口	9	作動ランプ	14	排水口	19	取付プレート
5	ボールタップ元	10	電源ランプ	15	温調ダイヤル		

☆ＤＳ型　　☆ＨＤＳ型



注：DS 型の図は２号以上です。特・１号は給湯カランが自在カランになり、正面に１ヶとなります。

ご使用の前に

- 給水バルブを開けて給水をして下さい。一定の水位になると自動給水装置（ボールタップ）により給水は止まります。
- 空焚き防止のため、湯沸器内に給水中でも水位計に水面が現れて、満水となっていることを確認して下さい。
- 蒸気の元栓を開けて下さい。

空焚きは絶対にしないで下さい。

使用方法

■ 操作の仕方

1. 給水栓を開き、水位計により水位を確認して下さい。
2. 蒸気元バルブを開きプラグを電源コンセントに差し込み、電源スイッチをＯＮにしますと、電源ランプ（赤）と作動ランプ（青）が点き、電磁弁が開き蒸気が流れます。沸き上りますと自動的にＯＮ、ＯＦＦの動作を繰り返します。
3. 温調ダイヤルは右に廻すと高温、左に廻すと低温になります。（ＯＦＦにしますと作動しません）
4. 使用終了後は電源スイッチを切り、給水栓、蒸気元栓を必ず閉じて下さい。

■ 使用上の注意

注　意

- 供給する蒸気の圧力は 0.2MPa 以下にして下さい。
- 夜おやすみの時や外出の時等は、必ず電源スイッチを切って下さい。
- 配管内のゴミ等は故障の原因となりますので、充分に取り除いてからご使用下さい。
- 排水を行う時は、温度が下がってから行って下さい。

日常の点検とお手入れ

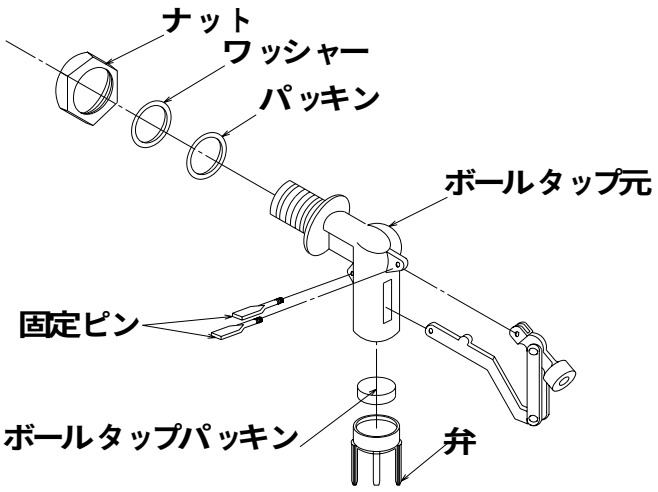
注　意

- お手入れは、湯沸器本体が十分に冷めてから行って下さい。やけどします。
- 掃除を行う場合、操作部に水が掛からないようにして下さい。防水ではありませんので故障の原因となります。

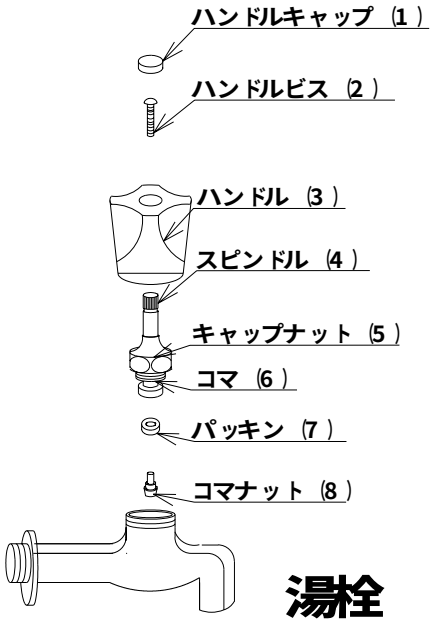
1. **点検**
   - **蒸気接続管の接続状態、及び蒸気洩れの有無を時々点検して下さい。**
   - **給水・給湯等の接続部より水漏れがないかどうかを点検して下さい。**
   - **安全装置等は絶対に分解しないで下さい。**
2. **お手入れ時の注意**
   - **お手入れの前には必ず蒸気の元栓、給水バルブを閉めてから行って下さい。**
   - **電源スイッチを「ＯＦＦ」にして電源プラグを抜いてから始めて下さい。**
   - **外装の汚れは中性洗剤を使用し、布でふき取って下さい。ふき取りや湯沸器周辺の掃除の時、ステンレスのバリ、ビスの先端に注意して行って下さい。**
3. **ボールタップのお手入れ方法**
   A) **水が入らない場合**
   - **①　ボールタップ弁金具内のストレーナのゴミ、水あか等の掃除。**
   - **②　ボールタップ弁金具内のコマパッキンの取替。**
   - **③　ボールタップ弁金具の内壁、又はコマに水あかが付着しているとコマの上下作動をしませんので、水あかを取り除いて下さい。**

   B) **湯がオーバーフロー管から流れ出る場合**
   - **①　特に高水圧の時は給水バルブを出湯量に合わせ、バルブを絞って下さい。**
   - **②　ボールタップ弁金具内のコマパッキンの取替。**
   - **③　ボールタップ弁金具の内壁、又はコマに水あかが付着しているとコマの上下作動をしませんので、水あかを取り除いて下さい。**
4. **給湯カラン（湯栓）**
   A) **湯が止まらない場合**
   - **①　ハンドルキャップ（1）を上に引き抜き、中のハンドルビス（2）を左に廻して取り出してハンドル（3）を上に引き抜いて外して下さい。**
   - **②　次にキャップナット（5）を左に廻して外し、スピンドル（4）を左に廻しますとコマ（6）と共に外れます。コマナット（8）を外し、パッキン（7）を取り替えて下さい。（キャップナット（5）がハンドル（3）の下に見えているタイプの物は①は不要です。）**

   B) **水位計に水面が見えていて湯が出ない場合**
   ボールタップ A)**と同じ**



ボールタップ



湯栓

故障かな？と思ったら

湯沸器が思うように動作しない場合や操作上で困った時などは、販売店又は弊社へお問い合わせいただく前に、次の各項目を確かめて下さい。

注　意

- 不良や異常のままの状態でご使用になると事故の原因になりますので、電源・ガスを止め使用を停止して下さい。

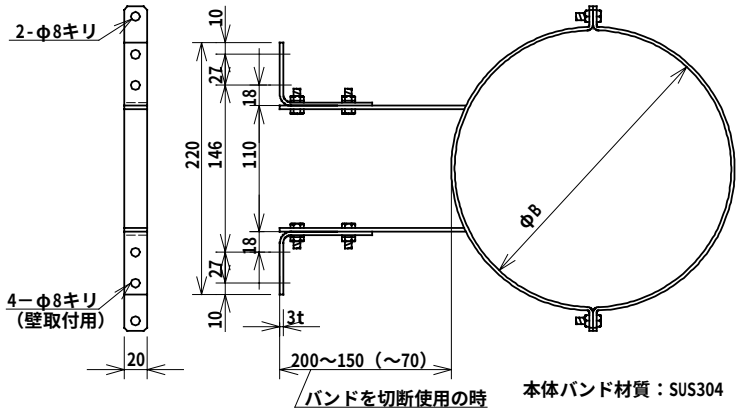
故障	原因	処置
水が入らない	ボールタップ弁内のストレーナのゴミ、水あかによる詰まり	ゴミの除去
	ボールタップ弁内のコマ又は内壁の水あかによるとコマの上下作動の不良	コマ、内壁の水あかの除去
	給水バルブの開け忘れ	点検して開ける
水がオーバーフロー管から流れ出る	フロート（浮子）に水が入り込んでいる	フロートを取り替えて下さい
	特に高水圧の場合	給水バルブを出湯量に合わせ、絞って下さい
	ボールタップコマパッキン不良	パッキン交換
	ボールタップ弁内のコマ上下作動の不良	コマ・内壁のゴミ、水あかの除去
湯栓の湯が止まらない	コマパッキン交換	パッキン交換
湯が出ない	適水量入っていない	水位計を見て水が順調に入ってくるか確認
	配管に空気が入っている（壁掛型）	点検して販売者に連絡
お湯にならない	蒸気が出ない	蒸気元バルブが全開になっているか確認して下さい 全開になっているのに沸かない場合は、点検が必要です
運転スイッチを入れても運転ランプが点かない	電源プラグが抜けている	点検して差し込む
	コンセントに電気が来ていない	点検
	停電している	点検
	ヒューズの断線	ヒューズの交換
地震や火災の時		あわてずに電源を切って下さい 熱湯が飛び散る事があるので注意して下さい

長時間使用しない時

長時間ご使用にならない場合は、給水栓を閉じ電源コードを抜いて下さい。この場合、休み明けには電源コードを接続し､衛生上タンクの水を入れ替えて下さい。

オプション

■置台型固定金具



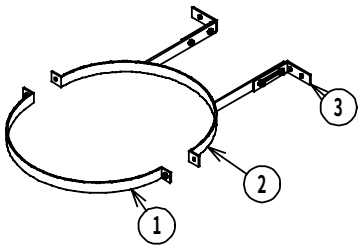
本体バンド材質：SUS304

●寸法表（㎜）

記号 / 号数	φB
特号	242
1号	292
2号	363
3号	380
5号	424
7号	500
10号	570
15号	570
20号	620

●取付手順

1．固定金具の①の部品を外します。
2．①の部品を設置例のように水位計と本体の間に差し込みます。上下の目安として水位計の範囲で固定して下さい。間が狭いので水位計の破損には十分注意して下さい。
3．①と②を仮組して設置場所へ設置し位置を確認しながら長さを調節します。
4．③の部品を壁面へ強固に固定します。固定ボルトは付属していません。
5．仮組したボルト類を増し締めします。



固定金具

※設置例：P8．設置工事説明編「●置台型固定金具を使用し場合の設置例」参照

設置工事説明編

設備業者及び工事をされる方へ

警　告

- この機器を安全に正しくご使用頂くためにこの設置工事説明書をよくお読みになり指定された工事を行って下さい。
- 設置工事が終わったら、「設置工事の点検」のチェックリストに基づいて必ず再確認を行って下さい。

注　意

- この機器は屋内用です。屋外への設置は出来ません。
- 銘板に表示してある電源を使用して下さい。

設置に関する注意事項

■ お客様への説明

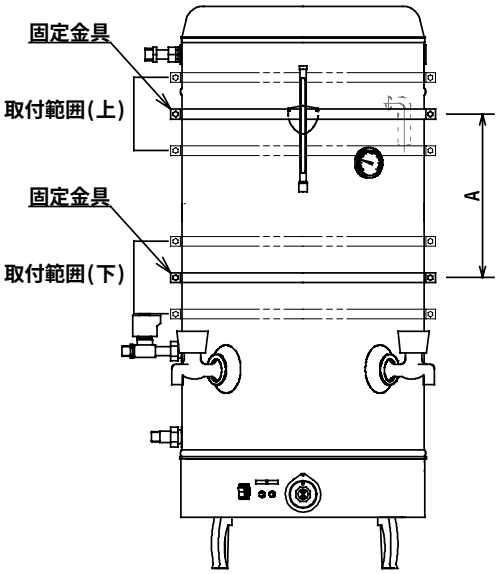
使用方法を取扱説明書に従ってお客様へ説明して下さい。

■ 機器の設置

- 機器を設置する際は建築基準法(建築設備の構造耐力上安全な構造方法を定める件 最終改正:平成 24 年 12 月 12 日 国土交通省告示第 1447 号)に基づいて設置工事を行って下さい。

●置台型固定金具(オプション P6参照)を使用した場合の設置例

建築設備の構造耐力上安全な構造方法を定める件(最終改正:平成24年12月12日 国土交通省告示第1447号)に基づいた設置例です。



号数	使用数	取付位置	取付間隔:A	
			地階及び一階並びに敷地の部分、中間階	上層階及び屋上
特号	1	上		
1号	1	上		
2号	1	上		
3号	1	上		
5号(*1)	2	上、下	200mm以上	350mm以上
7号(*1)	2	上、下	300mm以上	500mm以上
10号(*2)	1	上		
15号(*2)	1	上		
20号(*2)	1	上		

(※1)5号、7号は固定金具を2個使用して下さい。
(※2)10号、15号、20号は本体の足をアンカーボルトで固定して下さい。

固定金具を壁面への固定に使用するアンカーボルトの例

号数	設置階	固定方法 種類	ねじ径	埋込長さ	引張耐力	せん断耐力	総本数
特号、1号	地階及び一階並びに敷地の部分	あと施工アンカー	6mm	30mm以上	0.3kN以上		4本
	中間階、上層階及び屋上	あと施工アンカー	6mm	30mm以上	0.5kN以上		4本
2号、3号	地階及び一階並びに敷地の部分	あと施工アンカー	6mm	30mm以上	0.5kN以上		4本
	中間階、上層階及び屋上	あと施工アンカー	6mm	30mm以上	0.5kN以上		4本
5号	全階層	あと施工アンカー	6mm	30mm以上	2.0kN以上	0.3kN以上	8本
7号	地階及び一階並びに敷地の部分、中間階	あと施工アンカー	6mm	30mm以上	2.0kN以上	0.4kN以上	8本
	上層階及び屋上	あと施工アンカー	6mm	30mm以上	2.5kN以上	0.4kN以上	8本
10号、15号	地階及び一階並びに敷地の部分	おねじ形のあと施工アンカー	6mm	23mm以上			4本
	中間階、上層階及び屋上	おねじ形のあと施工アンカー	6mm	30mm以上			4本
20号	地階及び一階並びに敷地の部分	おねじ形のあと施工アンカー	6mm	30mm以上			4本
	中間階、上層階及び屋上	おねじ形のあと施工アンカー	6mm	30mm以上	0.9kN以上		4本

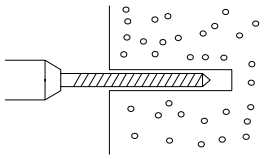
本体足を床面への固定に使用するアンカーボルトの例

号数	設置階	固定方法 種類	ねじ径	埋込長さ	引張耐力	せん断耐力	総本数
10号、15号	地階及び一階並びに敷地の部分	おねじ形のあと施工アンカー	8mm	35mm以上		0.3kN以上	4本
	中間階、上層階及び屋上	おねじ形のあと施工アンカー	8mm	35mm以上		0.7kN以上	4本
20号	地階及び一階並びに敷地の部分	おねじ形のあと施工アンカー	10mm	40mm以上		0.5kN以上	4本
	中間階、上層階及び屋上	おねじ形のあと施工アンカー	10mm	40mm以上		1.2kN以上	4本

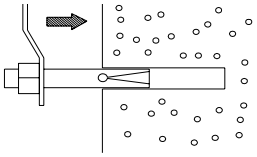
●壁掛湯沸器の取付上の注意

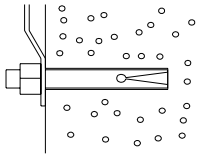
取付の際は、必ず付属のプレートをご使用下さい。湯沸器は給水時に重量が増加します。プレートは確実に取付けて下さい。特に上部取付ネジは充分強く取付けて下さい。万一抜けますと、熱湯が飛び散り、やけどの恐れがあります。

1. **コンクリートの壁・タイル壁・ブロック等に取付ける場合**
   - **①　ダイナボルト（25N38）により確実に取付けて下さい。**
   - **②　軽量ブロック壁・シックイ壁・取付け壁面がやわらかくダイナボルトで確実に取付けが出来ない時は他の方法により強固に取付けて下さい。**



2. **ダイナボルト(25N38)で取付ける場合**
   - **①　取付け壁面にプレートをあてて穴あけの位置決めをして下さい。**
   - **②　壁に 8.2～8.6 径で深さ 45mm の穴を水平に開けて下さい。**
   - **③　ダイナボルトのナットとワッシャーを取り外し、プレートの穴の裏側よりダイナボルトをそれぞれの穴に挿入しワッシャーナットで仮締めして下さい。**
   - **④　プレートにダイナボルトを仮締めした状態のままで、穴開けしたそれぞれの穴に同時に挿入して下さい。**





3. **ダイナボルトは器具に付属しているものを使用して下さい。**
4. **取付けネジは必ず所定の本数を取付けて下さい。**
5. **取付ける壁に十分な強度が無い場合は、補強工事を行って下さい。**

■　給水・給湯配管工事

新設配管の時は､配管内のゴミを完全に取り除いてから接続して下さい。

☆給水配管

- **(ア) 給水圧力は 300kPa 以下でご使用下さい。越える場合は、減圧弁を入れて下さい。**
- **(イ) 給水管との接続には飲料用に支障の無い配管材料を使用し､付属の給水金具を使用して下さい。又、給水管には、湯沸器の近くに必ず止水栓を付けて下さい。**
- **(ウ) 給水管に金属フレキ管を使用される場合、バイブレーション（振動）を起こし易いので、必ず給水口近くの壁等にしっかり固定して下さい。**
- **(エ) 給水接続の時、内部のボールタップをしばってあるビニールひもがありますので、必ず取り除いて下さい。**
- **(オ) 井戸水で使用する場合は、溶接部が著しく侵食されることがあるため、耐用年数が短い場合がありますのでご注意下さい。**

☆給湯配管

- **(ア) 配管材料は熱湯が流れますので､耐熱性の物を使用して下さい。**
- **(イ) 給湯配管が長くなると、水栓からお湯が出るまでの時間が長くなりますので短くして下さい。**
- **(ウ) 空気だまりが出来ないように配管して下さい。**
- **(エ) 配管には保温をすることをお勧めします。**
- **(オ) 湯栓は必ず給湯用（吊りコマ式熱湯用）を使用して下さい。水用を使用しますと、熱湯のため止まらない場合もあります。**

☆オーバーフロー配管

- **(ア) オーバーフロー配管には金属等で間接に接続し､その先端は流しへ出して下さい。ゴム管、ビニール管は直接結ぶと臭気が逆流して､お湯に臭い付く場合があります。**
- **(イ) オーバーフローの配管は、衛生上・メンテナンス上から排水への直結は避けて下さい。**
- **(ウ) 配管は絶対に下り勾配で耐熱性のものを使用して下さい。**
- **(エ) バルブ等は設けず開放にして下さい。**

■ 蒸気配管工事

(ア) 蒸気入口の電磁弁の出来るだけ近い位置にストレーナ（１００メッシュ）を設けて下さい。又、ストレーナ手前にパージ用のバルブを付けて下さい。

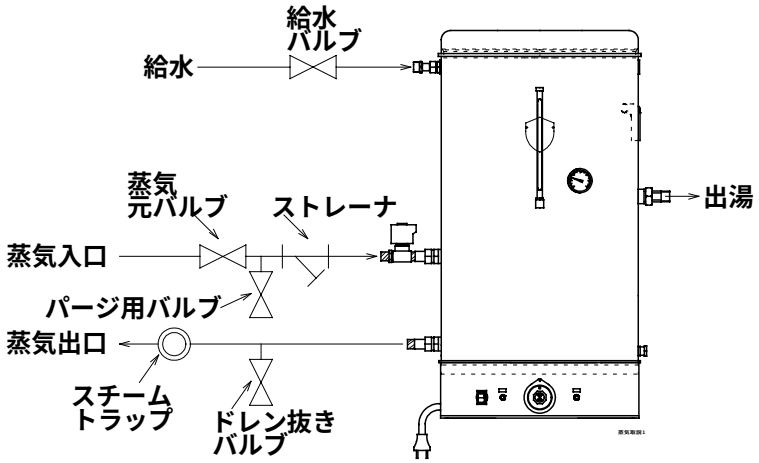
(イ) 蒸気出口からの配管上にスチームトラップを取付けて下さい。又、トラップ前にドレン抜きバルブを付けて置き、使用開始前に配管内のドレンを抜けば配管内の音（スチームハンマー）の出るのを防ぎます。

(ウ) 本体アースは必ずお取り下さい。（アース端子は本体台部にあります。）

(エ) 標準蒸気使用圧は 0.2MPa で設定されています。それ以外はご相談下さい。

注　意

- ご使用前には必ず配管内のゴミを出すためにパージ用バルブを用いて、電磁弁及び閊き本体にゴミが入らないようにパージをして下さい。パージを行わないと電磁弁に傷等が付き、蒸気が止まらなくなる場合があります。



仕　様

■　性能表

項目 / 型式・号数		容量 [L]	沸上りのための必要熱量 [kW]	採取量 [杯]	沸上り時間 [min]	蒸気出入口	給水口	給湯口	本体重量 [kg]
置台型	DS-特	12	4.7	120	14	15A	15A	15A×1	7
	DS-1	23	7.0	215	18	15A	15A	15A×1	9
	DS-2	49	10.5	445	26	15A	15A	15A×2	12
	DS-3	68	15.7	625	24	15A	15A	15A×2	13
	DS-5	105	15.7	940	37	15A	15A	15A×2	17
	DS-7	144	23.5	1290	34	15A	15A	20A×2	25
	DS-10	197	23.5	1830	47	15A	15A	20A×2	30
	DS-15	290	35.3	2670	46	20A	15A	20A×2	35
	DS-20	373	35.3	3380	59	20A	15A	20A×2	40
壁掛型	HDS-特	15	7.0	135	12	15A	15A	15A	7
	HDS-1	26	10.5	235	14	15A	15A	15A	8
	HDS-2	37	15.7	360	13	15A	15A	15A	11
	HDS-3	59	15.7	535	21	15A	15A	20A	15
	HDS-4	75	23.5	670	18	15A	15A	20A	17
	HDS-5	91	23.5	800	22	15A	15A	20A	20
	HDS-7	118	35.3	1120	19	20A	15A	20A	23

◎注意事項

置台型の給湯口は胴長湯栓です。DS-特・1 号は自在水栓となります。

採取量の算出基準：1 杯 90cc とし給湯温度は 80℃以上で計算していますが、蒸気湯沸器の場合は短時間で沸上るため 1 時間で 3～4 倍の人数が可能な機種もありますので沸上り時間を参考にして下さい。

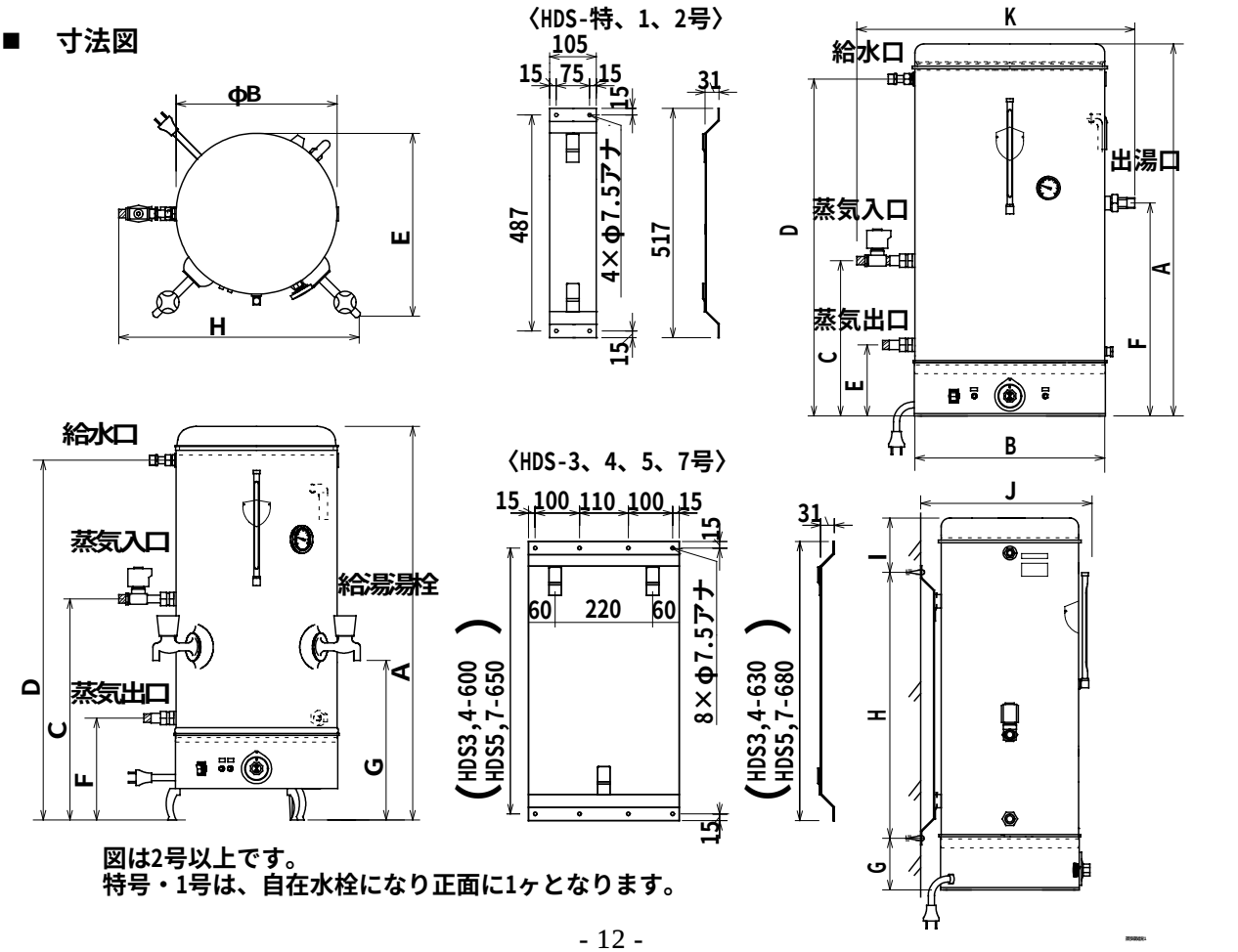
■ **寸法表（置台型）**[mm]

	A	B	C	D	E	F	G	H
特	633	242	350	562	360	230	240	420
1	726	292	365	652	410	230	310	445
2	888	363	380	812	428	230	360	538
3	1008	380	380	932	441	230	360	553
5	1172	424	415	1091	466	250	375	590
7	1231	500	485	1128	550	295	410	695
10	1286	570	485	1183	609	295	410	755
15	1671	570	550	1568	609	295	410	770
20	1773	620	550	1669	652	295	410	812

■ **寸法表（壁掛型）**[mm]

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
特	587	273	285	523	150	254	80	487	20	300	460
1	728	303	300	656	150	295	102	487	140	306	490
2	751	370	310	681	160	319	108	487	157	352	561
3	840	428	350	760	160	480	110	600	127	391	619
4	897	459	375	817	185	482	112	600	185	426	681
5	922	490	375	842	185	492	102	650	172	448	712
7	960	535	440	875	185	483	123	650	189	486	772

■ **寸法図**



図は2号以上です。
特号・1号は、自在水栓になり正面に1ヶとなります。

アフターサービスについて

サービス（修理）のご依頼をされる前にもう一度「故障かな？」を確認の上、販売店もしくは細山熱器（株）サービス課までご連絡下さい。アフターサービスをお申し付けの際は次のことをお知らせ下さい。

品名：貯蔵式蒸気湯沸器　　電源電圧：１００V
型式：銘板表示のもの　　製造番号：○○○○

故障内容、異常の状況をできるだけ詳しくお伝え下さい。又、お客様のご住所、電話番号、会社名、担当者名をお知らせ下さい。尚、製品の修理に関するお問い合わせは下記までお願いします。

拠点名	電話番号	住所
細山熱器（株）本社	TEL:03-3249-0331 FAX:03-3249-0329	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 2-8-7
細山熱器（株）札幌営業所	TEL:011-736-0371 FAX:011-758-0739	〒001-0019 札幌市北区北 19 条西 5-1-22
細山熱器（株）新潟営業所	TEL:025-246-0166 FAX:025-241-3833	〒950-0916 新潟市米山 1-5-5
細山熱器（株）大阪営業所	TEL:06-6922-5581 FAX:06-6921-2040	〒535-0031 大阪市旭区高殿 2-7-19
細山熱器（株）福岡営業所	TEL:092-403-0255 FAX:092-403-0257	〒810-0033 福岡市南区大橋 3-25-1 貞方ビル D 号室
細山熱器（株）仙台出張所	TEL:022-272-0909 FAX:022-275-9473	〒981-0916 仙台市青葉区青葉町 5-3

インターネット www.hosoyama.co.jp **でも受け付けております。**

取扱説明書の再入手方法

この取扱説明書を紛失した場合、最寄の営業所に依頼して下さい。有料にて手配致します。尚、依頼される時は取説番号をお伝え下さい。
この取扱説明書の取説番号は、DS－取説－004 です。

MEMO

貯蔵式ガス湯沸器
貯蔵式電気湯沸器
貯蔵式蒸気湯沸器
電気温水器
電気瞬間湯沸器
蒸気瞬間湯沸器
ガスボイラー
ファーネス
乾燥機
熱風発生炉
熱風処理炉
遠赤外線過熱炉
浸管ヒーター
低 NO x バーナー
大型ガスバーナー
メタルニットバーナー
かがり火
聖火台
その他
ガス電気特殊機器

細山熱器株式会社

本　　社：	〒103-0025 **東京都中央区日本橋茅場町** 2-8-7	TEL:03-3249-0331（代）	FAX:03-3249-0329
札幌営業所：	〒001-0019 **札幌市北区北** 19 **条西** 5-1-22	TEL:011-736-0371（代）	FAX:011-758-0739
新潟営業所：	〒950-0916 **新潟市米山** 1-5-5	TEL:025-246-0166（代）	FAX:025-241-3833
大阪営業所：	〒535-0031 **大阪市旭区高殿** 2-7-19	TEL:06-6922-5581（代）	FAX:06-6921-2040
福岡営業所：	〒810-0033 **福岡市南区大橋** 3-25-1**貞方ビル** D **号室**	TEL:092-403-0255（代）	FAX:092-403-0257
仙台出張所：	〒981-0916 **仙台市青葉区青葉町** 5-3	TEL:022-272-0909（代）	FAX:022-275-9473

http：//www.hosoyama.co.jp
e-mail：info@hosoyama.co.jp

※ご使用の前に「取扱説明書」をよく読んで正しくお使いください。取扱を誤りますと故障や事故の原因になります。
※設置工事はお買い上げの販売店または専門業者をご依頼下さい。工事に不備がありますと事故の原因となることがあります。

注意 **※製品改良の為、予告なしに仕様変更する場合がありますので、あらかじめご了承下さい。**
※製品詳細につきましては承認図にてご確認下さい。